



脱炭素社会への貢献のあり方 事例の紹介(熊本県苓北町)



資料3-5

有明海
出入口

東シナ海
(天草灘)

写真

【苓北町 基本データ】(R3.3.31現在)

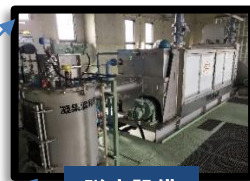
- ★ 人口(住民基本台帳) 6,858人
- ◎ 汚水処理人口(普及率) 6,618人(96.5%)
- 下水道処理人口(整備率) 5,393人(78.6%)
- 農排等整備人口(整備率) 196人(2.9%)
- 合併処理浄化槽人口(普及率) 1,029人(15.0%)





1 苓北町の取り組み事例の紹介

●他分野との連携による資源の有効利用(脱炭素社会の実現)



③ 一次産業



④ 苓北町堆肥センター



⑤ 農業生産 冬レタス産地



汚泥+生ごみ+牛糞、生ごみ+牛糞の2種



堆肥 パラ売り品

苓北ゆうき大地
(15kg入/袋)



2 取り組み課題と現状の対応(他分野連携による資源利用)

1) 現状

● 畜産農家の減少による、牛糞の確保が難しい。

畜産牛糞	+	生ごみ	+	下水汚泥	=	① 普通堆肥として販売
混合割合 5割	+	1割	+	4割	=	② 特殊堆肥として販売
混合割合 9割	+	1割			=	

2) 課題

▲ 牛糞不足により令和元年度は下水道汚泥の53%を域外の堆肥化施設へ運搬(長距離運搬による温室効果ガスの増加)

※ 令和元年度 汚泥運搬量実績

・町堆肥センター	210t
・域外堆肥化施設	235t

3) 改善に向けた現状対応

△令和2年度から畜産農家からの牛糞受入料金を廃止。牛糞を軒先収集へ変更(牛糞の有価物化=他市町からの受入可)

※令和2年度 汚泥運搬量実績 前年比

・町堆肥センター	351t	167%
・域外堆肥化施設 <small>(故障時)</small>	32t	13%

※1近隣焼却施設で処分した場合との温室ガス削減効果 R2 383t 約282CO₂t削減

※2地域内循環による運搬費の削減効果 R元、2年度比較 56回削減 約17CO₂t削減

4) 温室効果ガス削減のために(小規模自治体でもできること)

①今ある施設で取り組める計画作成と実行。→ 事例研究や人材の育成と確保

②今ある技術の導入。→ 施設用地を活用した太陽光設備の導入等

③脱炭素も地域課題解決も → 広域化・共同化・ICT.AIの活用、企業連携等